

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
病態学（臨床病態学）	岩崎 泰正	講義	2	栄養士必修	1, 2	1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>栄養学の立場からチーム医療の一員となるための基本的な知識を習得するため、症候学、病態学、環境要因の影響、という3つの切り口から講義を進める。 単に知識を身に付けるだけでなく、医学を理解するための科学的思考法を身に付けてもらいたい。</p>						
到達目標	<p>①症候・病態・環境要因という多方面の切り口から病態学の基本知識を身に付ける。 ②病気や症状はなぜ起こるのか、という発症機序のレベルまで理解する。 ③医療人に必要な考え方、すなわち科学的・論理的に物事を把握・解析する力を養う。</p>						
回	学習内容						
1	アルコールの医学						
2	喫煙の弊害						
3	メタボリックシンドローム						
4	炎症と腫瘍						
5	症候学						
6	消化器疾患：総論と各論						
7	呼吸器疾患：総論と各論						
8	循環器疾患：総論と各論						
9	腎泌尿器疾患：総論と各論						
10	内分泌疾患：総論と各論						
11	糖尿病：総論と各論						
12	血液疾患：総論と各論						
13	免疫疾患：総論と各論						
14	脳神経疾患：総論と各論						
15	試験および試験解説						
予習内容 復習内容	<p>予習：教科書の該当範囲に目を通す。 復習：教科書の該当範囲を改めて通読する。</p>						
教科書	はじめの一步の病態・疾患学（羊土社）						
成績評価	<p>基本的に試験成績で評価し、出席は参考とする。 5回を超えて欠席した学生は、試験の受験資格なしとする。</p>						
実務経験	<p>内科医として国立大学教授（専門は内科・内分泌代謝学）を長年務め、現在は医療栄養学科教授を務めている。その経験に基づき、疾患の病態と栄養の重要性を分かりやすく解説する講義を行う。</p>						
その他 特記事項	<p>プロの医療従事者としての自覚を持った学生さんを育てたい。 そのために一方通行ではなく、活発な質疑応答による双方向性の授業を行う予定である。</p>						